

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた 安全安心なクルーズの受入について

(賛) 戸田智司 ((一財) みなと総合研究財団 調査研究部 兼 クルーズ総合研究所)
 (賛) 石山孝義 ((一財) みなと総合研究財団)、(賛) 沖田一弘 ((一財) みなと総合研究財団)
 (賛) 増田雄祐 ((一財) みなと総合研究財団)、(賛) 守屋良美 ((一財) みなと総合研究財団)

1. まえがき

世界規模にわたる新型コロナウイルス (COVID-19) の感染症拡大に加え、2020年2月の「ダイヤモンド・プリンセス」の事例が大きく取り上げられるなど、我が国におけるクルーズの印象が変わってきている。一方で、クルーズ乗船前のPCR検査が義務化されるなど、クルーズ船の安全安心な運航が見直されている。

そこで本稿は、クルーズに関係する感染症対策について関係機関の動向やクルーズ船の運航再開状況を紹介します。安全安心なクルーズの受入への理解を深めることを目的とする。

2. クルーズにおける新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 世界の感染症対策の動向

世界では、クルーズ船の運航再開に向け、政府や関係団体から新型コロナウイルスの感染症対策として、安全・安心なクルーズ環境整備に係る文書等が発出されている。特にクルーズ市場の半数を占める北米に関するCDC (米国疾病予防管理センター) やCLIA (クルーズライン国際協会) では、1~2か月に1度情報を更新するなど、感染症対策への積極的な取り組みが見られる。

表2-1以外にも、欧州の「EU HEALTHY GATEWAYS」「EU SHIPSAN ACT Joint Action」「ECDC/EMSA (欧州疾病予防管理センター/欧州海上保安機関)」、上海市 (中国)、シンガポール港といった関係団体が、感染症対策に関する文書等を公表するなど、世界的にクルーズ運航再開に向けた気運が高まっていることがわかる。

(2) 我が国の感染症対策の動向

我が国においても、「ダイヤモンド・プリンセス」や「コスタ・アトランティカ」の事例を踏まえ、国土交通省においてクルーズの安全・安心の確保のために、感染症、危機管理等の専門家を含む多様な有識者

表2-1 世界の感染症対策に関する文書等(2020.12時点)

年月日	文書名	
①WHO (世界保健機関)		
2020年2月24日	Operational considerations for managing COVID-19 cases and outbreaks on board ships	船内におけるCOVID-19発症及び感染を管理するための管理上の注意事項
2020年3月25日		
2020年4月22日	A Joint Statement on medical certificates of seafarers, ship sanitation certificates and medical care of seafarers in the context of the COVID-19 pandemic	COVID-19パンデミックに伴う船員の診断書、船舶衛生証明書、船員の医療に関する共同声明
②IMO (国際海事機関)		
2020年1月31日~ ※継続的に発出	Circular letters	IMOが加盟国に向けて発出した回覧状 (COVID-19関連: No 4204)
2020年12月2日	INDUSTRY RECOMMENDED FRAMEWORK OF PROTOCOLS FOR ENSURING SAFE SHIP CREW CHANGES AND TRAVEL DURING THE CORONAVIRUS (COVID-19) PANDEMIC	コロナウイルス(COVID-19)のパンデミック時の船員交代と旅の安全を確保するためのプロトコルの業界推奨フレームワーク
③ICS (国際海運会議所)		
2020年4月14日	Coronavirus (COVID-19) Managing Ship and Seafarer Certificates during the Pandemic	コロナウイルス (COVID-19) パンデミック時の船舶および船員の証明書の管理
2020年5月11日	Coronavirus (COVID-19) Guidance for Ensuring a Safe Shipboard Interface Between Ship and Shore-Based Personnel	船舶と陸上の人員との間の安全な船上インターフェースを確保するためのガイダンス
2020年9月29日	Coronavirus (COVID-19) Guidance for Ship Operators for the Protection of the Health of Seafarers	コロナウイルス (COVID-19) 船員の健康を守るための船舶運航者向けガイダンス
④米国CDC (米国疾病予防管理センター)		
2020年3月14日発出~ 2020年9月30日更新	No Sail Order and Other Measures Related to operation	クルーズ船に対する運航禁止令、延長、関連措置
2020年2月13日改訂~ 2020年9月17日更新	Interim Guidance for Ships on Managing Suspected or Confirmed Cases of Coronavirus Disease 2019 (COVID-19)	2019年コロナウイルス病の疑いまたは確認された症例の管理に関する船舶の暫定ガイダンス (COVID-19)
2020年4月21日~ 2020年12月31日更新	Technical Instructions for Mitigation of COVID-19 Among Cruise Ship Crew	クルーズ船の乗組員の間でCOVID-19を軽減するための技術的指示
2020年10月30日	FRAMEWORK FOR CONDITIONAL SAILING AND INITIAL PHASE COVID-19 TESTING REQUIREMENTS FOR PROTECTION OF CREW	条件付きの航行の枠組みと初期段階のCOVID-19乗組員の保護のための試験要求事項
⑤CLIA (クルーズライン国際協会)		
2020年3月8日	Cruise Lines international Association (CLIA) Statement on COVID-19	COVID-19に関するクルーズライン国際協会 (CLIA) の声明
2020年4月10日	CLIA Statement Regarding No Sail Order Issued by the U.S. Centers for Disease Control and Prevention (CDC) on April 9, 2020	2020年4月9日に米国疾病予防管理センター (CDC) によって発行されたNo Sail Order (運航中止令) に関するCLIA声明
2020年6月19日	CLIA Announces Voluntary Suspension of Cruise Operations from U.S. Ports	CLIAが米国の港からのクルーズ運航の自主停止を発表
2020年8月5日	CLIA and Its Ocean-Going Cruise Line Members Announce Third Voluntary Suspension of U.S. Operations	CLIAとその外洋クルーズラインのメンバーが米国事業の3回目の自主停止を発表
2020年9月21日	CLIA and its Cruise Line Members Announce Mandatory Core Elements of Health Protocols	CLIAとそのクルーズラインメンバーが健康プロトコルの必須コア要素を発表
2020年10月30日	CLIA and its Ocean-going Cruise Line Members are Committed to a Return to Passenger Sailing with Enhanced Health and Safety Measures	CLIAとその外洋クルーズラインのメンバーは、強化された健康と安全対策を備えた旅客航海への復帰を約束
2020年11月3日	CLIA Ocean-Going Cruise Line Members - Reaffirming Commitment to Stringent Protocols - Voluntarily Extend Suspension of U.S. Operations	CLIA外洋クルーズラインメンバー-厳格な議定書へのコミットメントを再確認-米国事業の停止を自主的に拡大

の意見を踏まえた検討が行われている。その結果、「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ（2020年9月18日）」に加え、国内クルーズを対象に「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（一般社団法人 日本外航客船協会）」「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン（公益社団法人 日本港湾協会）」を公表している。

国内のクルーズ事業者においては上記のガイドラインに基づき、感染予防対策およびトライアル運航時の有症者発生対応訓練の実施等により、一般財団法人日本海事協会（NK）による第三者認証を取得するなど、安全安心のための取組が進められた結果、本格的な国内クルーズの運航が順次再開されている。また、ガイドラインにおいては、トライアル運航により得られた知見を踏まえ、2020年10月23日には国内クルーズを対象とする第二版、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（厚生労働省）」の変更等を踏まえ、2021年4月19日には第三版が公表されているなど、運航再開に向けて積極的な感染症対策の動きが見られることがわかる。

3. クルーズ船の運航再開状況

国土交通省の「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2020年速報値）」によると、新型コロナウイルス感染症の流行・拡大の影響を受け、訪日クルーズ旅客数及び総寄港回数が大幅に減少していることがわかる。特に外国船社による我が国港湾へのクルーズ船は、2020年3月から現在に至って、寄港が無い状況が続いている。

また我が国における日本船社のクルーズ船の運航再開状況は、2021年7月5日からの「ガンツウ」による運航再開を始めとし、10月25日に「にっぽん丸」、11月2日に「飛鳥II」、12月5日に「ばしふいっくびいなす」が運航を再開している。しかし、2021年1月7日および4月23日に発令された緊急事態宣言の影響等から、再運休や一部のクルーズが中止になっているなど、依然厳しい状況が続いている。

世界のクルーズ船の運航再開状況をみると、アジアでは中国、台湾、シンガポールで一部のクルーズが再開され

表 2-2 我が国の感染症対策に関する文書等

年月日	文書名
①国土交通省	
2020年9月18日	クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ
②一般社団法人 外航客船協会	
2020年9月18日	外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（初版）
2020年10月23日	外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（第二版）
2021年4月19日	外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（第三版）
③公益社団法人 日本港湾協会	
2020年9月18日	クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン（初版）
2020年10月23日	クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン（第二版）
2021年4月19日	クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン（第三版）

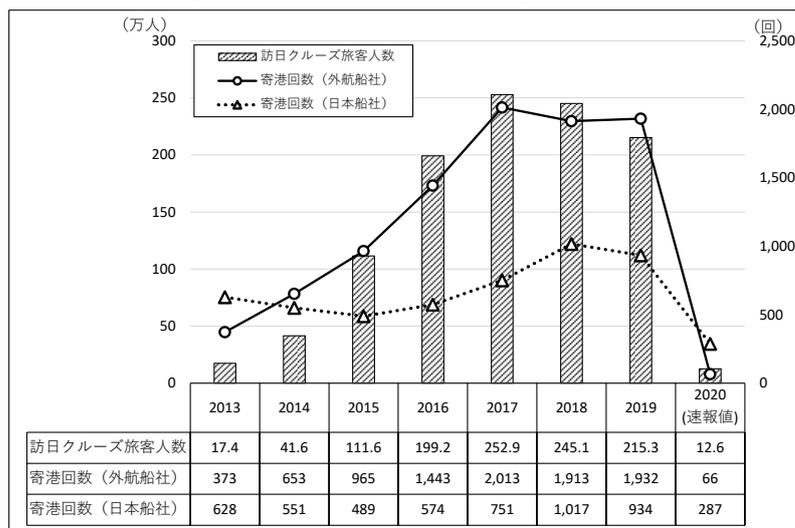


図 2-1 訪日クルーズ旅客関連指標の推移

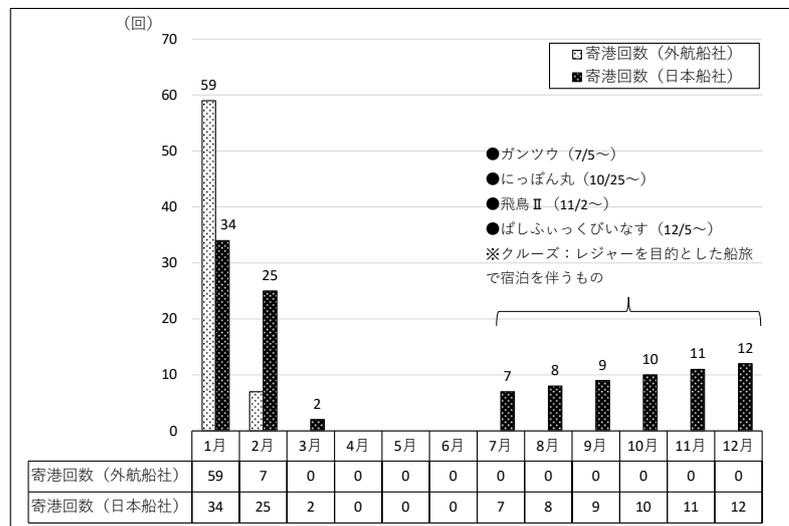


図 2-2 我が国港湾へのクルーズ寄港回数（月別）

ている状況にあることがわかる。欧州では、我が国同様に新型コロナウイルスの感染状況に合わせて、運休と再開を繰り返していることがわかる。北米では、CDC（米国疾病予防管理センター）による「No Sail Order（航行中止令）」が2020年10月31日に解除された後も、「Conditional Sail Order（条件付き航海命令）」といった米国海域でのクルーズ船の乗客の運航を再開するための段階的アプローチの枠組みをクリアする必要があるなど、厳しい再開基準があることから、運航再開に至っていない。

以上を踏まえ、世界のクルーズは、その大半が国内（欧州に関してはEU地域内）クルーズの運航再開に留まっており、国境を跨ぐような外航クルーズの再開はほとんどないのが現状である（2020年4月末時点）。

表 3-1 新型コロナの感染拡大を受けたクルーズ船社の運航再開状況

船社	運航状況
①日本	
郵船クルーズ	2020年11月2日出航から運航再開（緊急事態宣言の影響を受け、1月途中から再運休。3月26日から再開）
商船三井客船	2020年10月25日出航から運航再開（緊急事態宣言の影響を受け、1月途中から再運休。3月25日から再開）
日本クルーズ客船	2020年12月5日出航から運航再開（緊急事態宣言の影響を受け、1月途中から再運休。6月上旬から再開予定）
②アジア	
ドリームクルーズ	2020年7月26日から基隆、11月6日からシンガポールで運航再開（台湾：エクスペローラードリーム、シンガポール：ワールドドリーム）
スタークルーズ	シンガポールでホテルシップを実施
南海クルーズ など	2020年12月9日から海南島・三亜発着の西沙周遊を再開（ハイナン・ドリーム（南海之夢）、長楽公主）
③欧州	
M S Cクルーズ	2020年8月16日から地中海周遊の一部を再開、2021年5月20日から英国沿岸周遊を再開予定
コスタクルーズ	2020年9月6日から地中海周遊の一部を再開も再度休止、地中海配船は2021年5月1日から一部再開予定 日本発着は2021年3月21日発～7月27日発まで中止
キュナード	Q E（2021年10月11日まで）、Q M 2（2021年11月12日まで）、Q V（2021年8月27日まで）の全クルーズ中止
ボナン	2020年7月11日からフランス南岸周遊で運航再開（フランス政府の要請により再度運休中）
アイーダ	2020年10月17日から北海・バルト海周遊の一部を再開（欧州域内発着は運休中も、2021年3月20日からカナリア諸島で再開）
T U Iクルーズ	2020年7月24日から北海・バルト海周遊の一部を再開（欧州域内発着は再運休中も、2021年5月13日からギリシャで再開）
ハバックロイド	2020年7月末から北海・バルト海周遊の一部を再開（一時運休後、2020年12月半ばから再開も、再度運休中）
④北米	
プリンセスクルーズ	北米発着（2021年6月末まで）、オセアニア配船（2021年5月末）、日本発着（2021年）の全クルーズ中止 2021年7月31日から英国発着の沿岸周遊を順次運航予定
カーニバルクルーズライン	北米発着は2021年6月末まで全クルーズ中止
ホーランドアメリカ	北米発着は2021年6月末まで全クルーズ中止
シーボーン	2021年7月3日からギリシャ、7月18日からバルバドス発着で運航再開予定
ロイヤルカリビアン(RCI)	北米発着は2021年6月末まで一部を除き全クルーズ中止、欧州、大西洋横断は6月末まで全クルーズ中止、日本寄港・発着は再開時期未定
シルバークルーズ	一部を除き2021年6月末まで全クルーズ中止
ノルウェージャン(NCL)	2021年7月下旬からギリシャ、8月からカリブ海で運航再開予定
オーシャンシア&リージェント	北米発着など7月末まで全クルーズ中止
シードリーム	2020年6月20日から北欧周遊の一部を再開
クリスタルクルーズ	2021年6月末出航まで全クルーズ中止
ウインドスタークルーズ	2021年6月上旬から順次再開予定
ハイキングクルーズ	2021年5月から英国、6月からバミューダ、アイスランド発着を運航予定

※2021年4月末時点の各社のHPから情報収集した内容

4. 安全安心なクルーズの受入に向けて

新型コロナウイルスの感染症拡大の影響から、従来のクルーズ寄港条件（港湾施設能力＋観光コンテンツの有無）に加え、港湾管理者は、クルーズ船の寄港受入に際し、船舶及び港湾ガイドラインへの適合を確認するとともに、感染症拡大防止のための水際対策（ハード・ソフトの両面）および地元の衛生主管部局を含む地域の関係機関で構成される受入協議会等において合意を得ることを求められている。これは、船会社側にとっても同様で、クルーズ船を寄港させるためには、地元の衛生主管部局と船会社との感染症対策に基づく合意形成や最新動向等の情報交換、地域住民の新型コロナウイルスの感染に関する不安解消を行うための広報活動等といった連携が必要不可欠である。

以上を踏まえると、「クルーズ船の運航が再開され、寄港が始まった」というのは、前述にあるような要件をクリアしているということである。また冒頭でも記述している通り、クルーズ船では、乗船前のPCR検査を乗船客・乗組員に義務化しており、これは国内の他の公共交通機関にはないクルーズ独自の動きである。このようなことから、クルーズ船寄港の実現による観光客の受入は、他の移動手段と比較しても寄港地の住民にとって安全安心なものであると考える。

5. おわりに

本稿では、クルーズの感染症対策に関する関係機関の動向やクルーズ船の運航再開状況を紹介することで、ある程度は「クルーズ船は安全安心である」ことを示すことができたと考える。しかし、我が国におけるクルーズ船の運航再開は、国内クルーズのみとなっており、国内船社の国際クルーズはガイドラインの策定もしていない。また、海外船社の日本発着はカボタージュ規制（国内海上輸送の自国籍船限定）により、海外に寄港する国際クルーズとなるため、国際クルーズは再開されていない状況にある。

以上を踏まえ、外国船社や関係者が相互に協力しながら国際クルーズの再開を目指す「日本国際クルーズ協議会（Japan International Cruise Committee）」が2021年4月9日に設立されるなどの新たな動きが出ている。世界観光機関（UNWTO）と国際海事機関（IMO）においても、クルーズ業界が世界で120万人の雇用を生み、毎年1500億ドルの経済効果を上げているといった試算が出ていることから、我が国にとってもクルーズの動きが止まることは、少なからず損失であるとも言えるため、国内クルーズの運航継続および国際クルーズの運航再開、国内・国際クルーズの再興に向けて貢献していきたいと考える。

【参考文献】

- 1) WHO 「Publications Overview」 <<https://www.who.int/publications/i>>
- 2) IMO 「Coronavirus disease (COVID-19) Pandemic」
<<https://www.imo.org/en/MediaCentre/HotTopics/Pages/Coronavirus.aspx>>
- 3) ICS 「Publications」 <<https://www.ics-shipping.org/publications/>>
- 4) CDC 「CDC COVID-19 Orders for Cruise Ships」
<<https://www.cdc.gov/quarantine/cruise/covid19-cruiseships.html>>
「CDC Issues Next Phase of the Conditional Sail Order for Cruise Ship Operators」
<<https://www.cdc.gov/media/releases/2021/s0402-conditional-sail-orders.html>>
- 5) CLIA 「Browse Press Releases」 <<https://cruising.org/en/news-and-research/press-room>>
- 6) 日本外航客船協会 「新型コロナウイルス感染症 関連情報」 <<http://www.jopa.or.jp/>>
- 7) 日本港湾協会 「ガイドライン」 <<https://www.phaj.or.jp/guideline/>>
- 8) 国土交通省 「クルーズ振興」 <https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk4_000019.html>
「クルーズの再開に向けた安全対策について」
<https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk2_000017.html>